

## 政務活動に係る活動報告書

会 派 名	市民クラブ
活 動 項 目	先進地視察・研修会開催・研修会参加・その他（ ）
実 施 年 月 日	令和元年11月14日（木）
参 加 者 名	枝松直樹、中川とみ子、川口 豊、神保光一
視 察（研修）地	大分県別府市「太陽の家」
応 対 者	社会福祉法人太陽の家 事務局長 宮原 実乃 氏
目 的	障がい者の地域における共生の在り方を探ること
調査(研修)項目等	「太陽の家」の実践について
概 要	<p>別府市は、人口11万6千人の著名な温泉町ですが、ここに「太陽の家」の本部があります。</p> <p>立命館アジア太平洋大学が所在し多くの外国人が住んでおり、それに日々多くの観光客の往来、海外からの旅行者も多いことも相まって、大変多様性に富んだ都市となっております。</p> <p>そんな別府市には、太陽の家という、障がい者が地域社会の一住民として普通に働き生活する施設があります。1965年の創設以来、障がい者の働く場づくりに取り組み、多くの人が社会復帰しています。</p> <p>たとえ身体に障がいがあっても働く能力は関係なく、太陽の家では、仕事や生活の場においてユニバーサルな環境づくりに努めています。また、日常生活で常に介助を必要とする重度の障がい者も地域と交流を深めながら生活を楽しんでいます。</p> <p>太陽の家は創設者である中村裕博士のもと、「保護より機会を」(No Charity, but a Chance)、「世に心身障がい者はあっても仕事に障がいはいり得ない」という理念で運営されています。</p> <p>様々な偏見や苦勞を乗り越え、今ではオムロン・ソニー・ホンダ・三菱商事・デンソー・富士通等日本の大企業と提携し共同出資会社をつくり、多くの障がい者を雇用しています。</p> <p>太陽の家では体調管理を含めて安定した仕事をできるように工夫しています。そして、障がい者の作業環境の改善や工具の改良、自助具の導入を進め、手作業からライン作業、単純作業から熟練作業や頭脳労働など多くの成果をあげています。</p>

	<p>また、太陽の家の施設、付近のエリアには塀や門が無いことが印象的でした。太陽の家は、地域社会の一住民として地域とともにあるのです。昨今相模原の事件があり安全面からは時代に逆行したあり方にも思えますが、最大の防犯は地域に知ってもらうことであえて囲まないとのことでした。</p> <p>太陽の家にはスーパーや銀行等が入っていて、地域の方たちが生活のため普通に使っています。当然そこでは障がい者が従業員として働いていて、利用もしています。そのため街全体が、ユニバーサルデザインが当たり前になっています。</p>
<p>所 感</p>	<p>本市において、「保護よりも機会を」を提供するような取組を実践するうえでは、まずは、この太陽の家での考え方や、障がい者が地域で普通に生活できるような取組、環境づくりというのを本市でも見習うべきと感じました。</p> <p>太陽の家では、スポーツ分野の活動も盛んで、大分車いすマラソンやパラリンピック開催にも尽力しています。また、ドラマや映画化もされていますので、ぜひご覧ください。</p>